消化器内科

主任部長　岡田　光生

当科の紹介

榮枝弘司部長、青野礼部長、岡田光生主任部長、北岡真由子科長、梅下仁科長、大川良洋科長ほか医員 2 名、非常勤医 3 名、専攻医 3 名の総勢 14 名で診療を行っている。肝疾患、胆膵疾患、消化管疾患それぞれの領域や IBD を専門とする医師が診療を行い、消化器疾患全域を満遍なく、かつ専門性高く診療を実践している。検査、治療手技としては ESD、ERCP、interventional EUS、小腸内視鏡検査、RFA などあらゆる検査、治療手技を行っている。また、消化管出血や胆道感染症などの急性期疾患も数多く診療している。

人事

2022 年 9 月より、主任部長は榮枝弘司より岡田光生へ交代した。榮枝弘司部長は診療、研究、学術、教育を引き続き担当している。

国内留学者 3 名、専攻医研修の新規受け入れ 2 名は以下の通り。

前田真佐医員は 2021 年 10 月より北里研究所病院、炎症性腸疾患センターにおいて IBD について研鑽し、2023 年 4 月に復帰。

田村恵理医員は 2022 年 4 月より昭和大学北部病院、消化器センターにおいて大腸内視鏡診断について研鑽中。

吉田莉奈専攻医は 2022 年 4 月より幡多けんみん病院において研修し、2023 年 4 月に復帰。

村川和也専攻医は 2022 年 4 月より、初期研修に引き続き消化器内科専攻医として当科において後期研修を開始。

村島侑子専攻医は 2022 年 10 月より聖路加国際病院より当科において半年間研修し 2023 年 3 月末に同院へ復帰。

診療実績

内視鏡検査は新型コロナ感染症蔓延の影響で断続的に受け入れを制限しており、検査総数は昨年とほぼ同程度にとどまった。一方、コロナ感染症が落ち着いた時期は検査数が著増し、大変忙しかった。ESD は昨年より増加（70→86 件：食道 14 件、胃 54 件、大腸 18 件）した。そのほか EMR も増加し癌治療数の増加に繋がった。

内視鏡件数

上部内視鏡検査　3508 件(図 1)

下部消化管内視鏡検査　1984 件(図 2)

小腸内視鏡検査　60 件

ERCP　645 件(図 3)

EUS　324 件(図 4)

合計　6521 件

経皮的肝生検、肝腫瘍治療

肝腫瘍生検　5 件

肝生検　21 件

RFA　44 件

PEIT　1 件

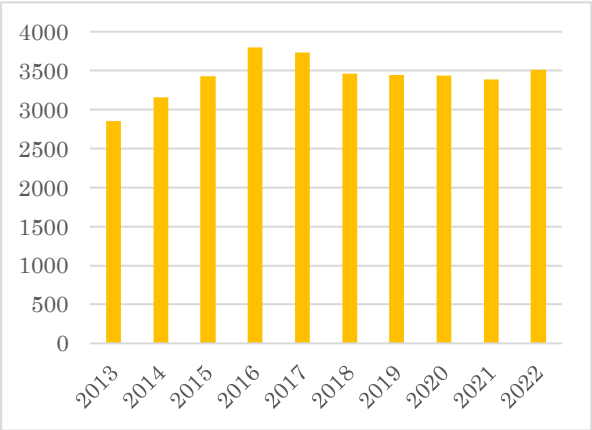

図 1　EGD

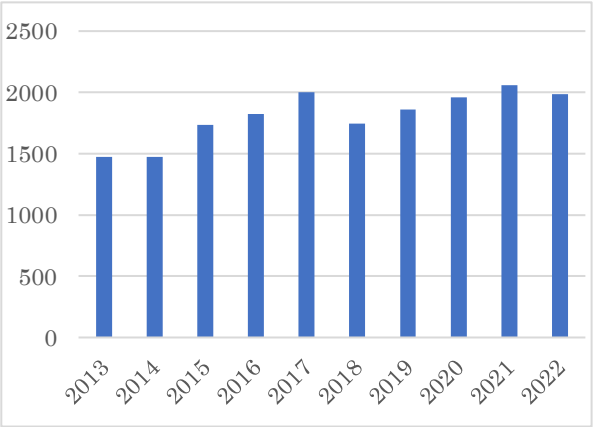

図 2　CS

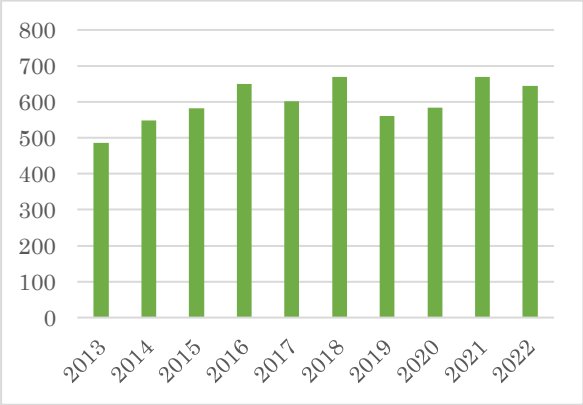

図 3　ERCP

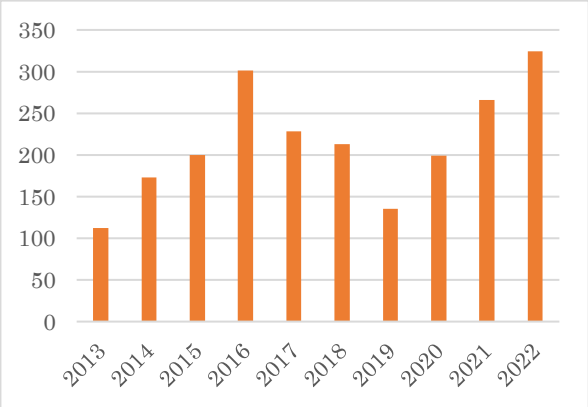

図 4　EUS

学術活動

本年も研究会、学会において多数の演題を発表している。新型コロナ感染症蔓延による行動制限が少しずつ緩和され、現地開催、発表、聴講する機会が増加しており、大変刺激を受けている。本年は論文投稿がなかったが、2023 年に掲載予定、執筆中が数本あり、今後も継続して投稿したいと考えている。

今後の展望

現在、診療数、診療内容ともに県下の基幹病院として十分な役割を果たしているが、今後もより一層診療数を増やし、診療内容の充実を行うことを目標としている。そのために以下のことを予定している。

1. 病診連携の強化。
2. 医局員のキャリアアップ。

地域講演会や病院訪問などの広報活動を実施しており、今後も継続していく。
紹介アクセス向上のため IBD 外来を開設した。
人材育成としては、2023 年 4 月より 1 年間の予定で町田彩佳医員が順天堂大学消化器内科において ERCP、EUS の研鑽を行う。
また、科長、医員に対しては学会での発表にとどまらず、論文投稿、学会評議員や指導医資格の取得を促す。
院内においては消化器内科にとどまらず、内科全体や病院全体を考慮した働き方を求め、未来の近森病院を支える人材育成を行いたいと考えている。

学術発表・講演会等

学会発表（紙上発表を除く）

演　題	発表者 共同演者	学会名	開催日時
ステロイド不応でアザチオプリンが有効であった Hepatopathy を伴う IgG4 関連硬化性胆管炎が疑われる 1 例	榮枝弘司 町田彩佳　大川良洋	第 3 回中四国肝疾患病理セミナー	2 月 11 日 高松
Fitz-Hugh-Curtis 症候群の早期診断における造影 CT 動脈相と尿中抗原検査の有用性	榮枝弘司 吉田莉奈、町田彩佳、佐竹朋美、梅下仁、大川良洋、田島萌夢、田村恵理、北岡真由子、岡田光生、青野礼	第 119 回日本内科学会総会	4 月 17 日 京都
当院の孤立性胃静脈瘤に対する BRTO 治療の現状	村川和也 田島萌夢、田村恵理、　矢野慶太郎、町田彩佳、吉田莉奈、　前田真佐、大川良洋、梅下仁、佐竹朋美、徳重美香、北岡真由子	第 103 回日本消化器内視鏡学会総会	5 月 14 日 京都

	斉藤純子、岡田光生、青野礼、榮枝弘司		
当院における大腸憩室出血500例の臨床的検討	田島萌夢 町田彩佳、梅下仁、前田真佐、田村恵理、大川良洋、佐竹朋美、徳重美香、斎藤純子、北岡真由子、市川博源、岡田光生、青野礼、榮枝弘司	第103回日本消化器内視鏡学会総会	5月14日 京都
ステロイド不応でアザチオプリンが有効であったHepatopathyを伴うIgG4関連硬化性胆管炎が疑われる1例	町田彩佳 大川良洋、梅下仁、北岡真由子、佐竹朋美、岡田光生、青野礼、榮枝弘司、円山英昭	第117回日本消化器病学会四国地方会	6月18日 松山
上腸間膜動脈にステント挿入後小腸切除術を施行した孤立性上腸間膜動脈解離の1例	村川和也 大川良洋、佐竹朋美、岡田光生、青野礼、榮枝弘司、細田幸司、宮崎延浩、小松由香、塚田暁	第117回日本消化器病学会四国地方会	6月18日 松山
肝型にとどまっているWilson病の親子例	木村和俊 吉田莉奈、佐竹朋美、北岡真由子、岡田光生、青野礼、 榮枝弘司、円山英昭	第117回日本消化器病学会四国地方会	6月18日 松山
GeL immersion法の基本とGeL immersion　ESD(シンポジウム)	矢野慶太郎 北岡真由子、岡田光生	第128回日本消化器内視鏡学会四国地方会	6月18日 松山
EUS-FNAが食道に接する肺結核の診断に有効であった1例	梅下仁 大川良洋、 岡田光生、　榮枝弘司、白神実、中岡大士、石田正之	第128回日本消化器内視鏡学会四国地方会	6月18日 松山
胆管・門脈浸潤を伴う肝細胞癌術後再発および経過中に発生した耳下腺導管腺癌術後の肺・リンパ節転移に分子標的剤が奏功した1例	田島萌夢 町田彩佳、榮枝弘司	第26回日本肝がん分子標的治療研究会	6月25日 軽井沢
肝細胞癌破裂術後の肝内多発再発にAtezo/Bev不応でLenvatinib少量投与が奏功した1例	町田彩佳 青野礼、田島萌夢、矢野慶太郎、榮枝弘司	第26回日本肝がん分子標的治療研究会	6月25日 軽井沢
内臓動脈瘤破裂による腹腔内出血をきたした4症例	橋本温子 田島萌夢、町田彩佳、北岡真由子、青野礼、岡田光生、榮枝弘司	第75回高知県医師会医学会	8月20日 高知
空腸に発生したpyogenic granulomaの1例	大原桃子 矢野慶太郎、大川良洋、北岡真由子、青野礼、岡田光生、榮枝弘司	第75回高知県医師会医学会	8月20日 高知
消化管出血、腸閉塞を契機に発見された成人男性の重複腸管の1例	高本琴子 町田彩佳、北岡真由子、青野礼、岡田光生、榮枝弘司	第75回高知県医師会医学会	8月20日 高知

急性期病院におけるアルコール関連肝障害の現状と課題（シンポジウム）	榮枝弘司 佐竹朋美、青野礼、岡田光生	第 38 回中国・四国アルコール関連問題学会	10 月 9 日 高知
当院の大腸憩室出血症例の再発リスク因子と治療戦略	田島萌夢 矢野慶太郎、町田彩佳、大川良洋、梅下仁、佐竹朋美、徳重美香、北岡真由子、斉藤純子、岡田光生、青野礼、榮枝弘司	第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW 2022）	10 月 27-30 日 福岡
当院における上部消化管内視鏡的胃物除去術の臨床的特徴および治療方針の検討	梅下仁 田島萌夢、村川和也、矢野慶太郎、　町田彩佳、大川良洋、佐竹朋美、北岡真由子、岡田光生、青野礼、　榮枝弘司	第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW 2022）	10 月 27-30 日 福岡
早期胃癌に対するＥSD 後出血の検討	北岡真由子 岡田光生	第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW 2022）	10 月 27-30 日 福岡
CT 陰性結石による胆管炎症例に対する EUS の有用性の検討	大川良洋 梅下仁、北岡真由子、岡田光生、青野礼、榮枝弘司	第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW 2022）	10 月 27-30 日 福岡
腸管エコーは緩解期潰瘍性大腸炎の再燃予測に有用である。	前田真佐 佐上晋太郎、小林拓	第 30 回日本消化器関連学会週間（学会パネルディスカッション）	10 月 29 日
「女性医師の会特別企画」女性医師の多様性に応じた活躍を支援するために～当科の取り組み～	榮枝弘司	第 118 回日本消化器病学会四国支部例会	11 月 20 日 徳島
当院における大腸憩室出血に対する治療戦略（シンポジウム）	北岡真由子 田島萌夢　岡田光生　榮枝弘司	第 118 回日本消化器病学会四国支部例会	11 月 20 日　徳島
内臓動脈瘤破裂による腹腔内出血をきたした４症例	橋本温子 田島萌夢、町田彩佳、北岡真由子、青野礼、岡田光生、榮枝弘司	第 118 回日本消化器病学会四国支部例会	11 月 20 日　徳島
大腸動静脈奇形からの出血に対して内視鏡的 Band ligation(EBL)を施行した１例	高島惇志 佐竹朋美、田島萌夢、梅下仁、大川良洋、北岡真由子、　青野礼、岡田光生、榮枝弘司	第 118 回日本消化器病学会四国支部例会	11 月 20 日　徳島
成人 Still 病に対するトシリズマブ投与後に肝障害をきたした１例	浅羽直 佐竹朋美、村川和也、北岡真由子、町田彩佳、青野礼、　岡田光生、榮枝弘司、円山英昭	第 44 回日本肝臓学会東部会	11 月 25 日　仙台
自然経過にて消失した多発肝動脈瘤の１例	町田彩佳 北岡真由子、佐竹朋美　岡田光生、青野礼、榮枝弘司	第 44 回日本肝臓学会東部会	11 月 25 日　仙台
分子標的剤により持続 CR が得られた StageⅣ肝細胞癌の３例	村川和也 町田彩佳、佐竹朋美　北岡真由子、岡田光生、青野礼　榮枝弘司	第 44 回日本肝臓学会東部会	11 月 25 日　仙台

高知県内研究会

演　題	発表者 共同演者	研究会名	開催日時
自然消失した多発肝動脈瘤の1例	町田彩佳	第228回高知肝疾患症例検討会	1月18日
日本と欧米の肝癌診療ガイドラインの相違－BCLCガイドライン 2022の改訂のポイント―	榮枝弘司	第229回高知肝疾患症例検討会	4月19日
早期胃癌の1例	北岡真由子	四国内視鏡カンファレンス	6月22日
HCC破裂術後の肝内多発再発Atezo/Bev不応でLenvatinib少量投与が奏功した1例	町田彩佳	第230回高知肝疾患症例検討会	7月19日
当院の便秘症の現状	徳重美香	女性の便秘症を考える会	8月23日
当院におけるIBD診療の実際～小腸検査を中心に～	田島萌夢	Clinical IBD seminar in Kochi	8月26日
消化管出血の現状報告	北岡真由子	GI Topics Seminar in Kochi	10月21日
ESDの最新の知見	岡田光生	GI Topics Seminar in Kochi	10月21日
当院における肝性脳症診断と治療	佐竹朋美	第2回高知県肝疾患WEBカンファレンス	11月1日
早期膵癌診断プロジェクト	大川良洋	高知胆膵疾患講演会	11月25日
胆管炎、膵炎に対するIntervensional EUS	梅下仁	高知胆膵疾患講演会	11月25日
早期胃癌の1例	梅下仁	四国内視鏡カンファレンス	12月7日
ダブルバルーン内視鏡の紹介	矢野慶太郎	消化器疾患を考える会	12月20日

高知県外講演会

演　題	発表者 共同演者	研究会名	開催日時
糖と脂質のDual managementを肝臓から考える	榮枝弘司	脂肪肝と糖尿病・脂質に関する懇話会	3月16日 高松